

## 活動方針及び報告書

委員会名を記載して下さい

委員会コードは添付の委員会リストをご覧ください

&lt;委員長&gt;

&lt;委員会コード&gt;

1025

目的	産業用マルチメディア技術の現状及び動向と鉄鋼業への応用についての調査				
内容	近年急速に進んでいる各種マルチメディア技術について広く産業界の調査を行い、産業分野の特に製造業の代表である鉄鋼業を例に、オペレーションから各製造設備の保全整備、保守支援、あるいは診断支援、各種教育訓練等まで広範な領域に適用が予想されるマルチメディア技術をサーベイする。そしてどのような適用が期待出来るのかシーズ、ニーズの両面から調査、検討し、鉄鋼業への応用拡大と問題点、今後の課題を探る。				
現状及び成果 (成果については、具体的に箇条書きにてお書き下さい)	<p>本委員会は平成●年●月に発足し、高炉メーカ、大学、電気メーカの計14名にて構成し、以来12回の委員会と全国大会シンポジウム（平成●年●月）、研究会（平成●年●月）を開催し、●箇所の見学会を実施し、主に以下の点を中心に調査、検討を行った。</p> <p>1) マルチメディア技術の応用事例調査、見学 2) マルチメディア技術動向と要素技術調査、見学 3) 鉄鋼業も含めて期待される応用のニーズ 4) 鉄鋼業への適用拡大に当たっての問題点と今後の課題</p> <p>以上により、産業用マルチメディア技術の現状と動向をふまえ、今後の鉄鋼業への応用の課題、将来方向の調査結果をまとめて平成12年11月に技術報告を提出。電気学会より平成13年1月に電気学会技術報告第820号として刊行された。</p>				
今後の目標及びその進め方	<p>本調査専門委員会は平成 ●年 ●月に解散しました。</p> <p>解散報告書に「今後の展開」として以下記述</p> <p>適用の実績はまだ多くなく定量的な評価まで進められなかったが、今後はかなり広範に且つ急速にマルチメディア技術が適用されると予想される。またマルチメディア技術そのものが広範囲な新しい関連技術領域を含み、急速な発展途上の技術であることから、今後も定期的な調査活動及び実適用による技術検討・蓄積が必要である。</p>				
調査結果の報告	調査報告書の形態				報告書原稿の提出時期
	1. <input type="checkbox"/> 技術報告	2. <input type="checkbox"/> 単行本	3. <input type="checkbox"/> その他 ( )		平成12年11月
*共同研究委員会の場合* 委員会活動費の徴収の有無、及び支出について	集められた金額の総額			今年度、支出された金額	
	本委員会	幹事会	その他 (研究会等)	設置年月	平成26年07月
本年度の開催回数	2	0	0	解散年月	平成29年06月
来年度の開催予定回数	—	—	—	本報告書 提出年月日	平成29年03月30日

回数のご記入を忘れずにお願い致します